

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島大学

1) 教育支援について

- ・ 新入生必修授業「大学教育入門」で講義「図書館の使い方と資料の収集」を実施。受講生 2,465 名。
- ・ 図書館利用講習会・ガイダンスを 40 回実施。
- ・ ライティングセンターで日本語文章・英語文章のライティング相談を 177 件実施。
- ・ 法学部の広島地区移転に伴い東千田図書館を改修（令和 5 年 4 月オープン）、面積は約 2 倍となった。
- ・ 文献複写料金等の支払方法として、東千田図書館でキャッシュレス決済（クレジットカードや電子マネーによる決済）を新規導入。すでに導入済みの霞図書館では対応する電子マネー等を追加。
- ・ 電子書籍を 586 点購入。ジャパンナレッジ大漢和辞典の同時アクセス数を 4→10 に増加。
- ・ 中国四国地区大学図書館協議会として学生協働交流シンポジウムを開催、47 大学 183 名が参加。

2) 研究支援について

- ・ ライティングセンターで英語論文作成相談を 431 回実施。
- ・ 学術情報リポジトリ登録件数 1,526 点。JPCOAR スキーマ対応のリポジトリシステムにデータ移行。
- ・ 研究データ管理ポリシーの策定（6 月）
- ・ 国文学研究資料館歴史的典籍ネットワーク事業による貴重資料の電子化を継続（令和 5 年度まで）
- ・ 広島大学図書館デジタルアーカイブに中国五県土地租税資料文庫の画像ファイル約 1,400 点を追加。
- ・ 広島大学出版会より新刊 4 冊、電子書籍 2 冊を出版。
- ・ 2023 年度の電子ジャーナル契約にかかる円安影響対応。利用単価の高いものから休止することについて学内合意後、外部資金の取得により契約維持可能となった。

3) 社会貢献について

- ・ 広島大学さてみんさいラボ（広島駅前広島 JP ビルディング内 2 階）で広島大学出版会書籍の販売を開始。
- ・ 「東広島市地域学習用デジタルコンテンツ活用講座」に会場を提供（7 月）
- ・ 中学校職場体験で 4 名受入（9 月）
- ・ 広島市立図書館連携講演会「モンゴル帝国のターニング・ポイント：オゴデイとクビライ」開催（3 月）参加 27 名

4) 管理運営について

- ・ 東図書館、西図書館の閲覧室照明を LED に取り換え。
- ・ 令和 4 年度国立大学法人等職員採用試験（図書系）、広島大学職員採用試験（図書系）を実施し 1 名採用。
- ・ 国立大学図書館協会セミナー「災害と図書館」の企画・運営（10 月）、333 名参加。

5) その他

- ・ 利用者アンケートを実施（1～2 月）、1118 件回答。
- ・ ビブリオバトル地区予選（広島大学）（10 月）、地区決戦（中国 B）（11 月）の運営。

資料 7-2

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：尾道市立大学

1. 教育支援

- a) 希望するゼミの新入生への図書館案内。
- b) 授業（英語）との連携（担当教員が英語多読本を使う課題を出し、学生が館外貸出により使用）。
- c) 各学科教員選定の基本図書、各研究科教員選定の大学院用図書の整備。

2. 研究支援

- a) 電子ジャーナル・データベースの活用促進や学外アクセス（日経テレコン21など）。
- b) 国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」の活用促進。
- c) 洋雑誌高騰のため2023年分購読タイトル（冊子体）の削減。

3. 社会貢献

- a) 共同リポジトリでの学内成果物のweb公開。
- b) 共同リポジトリでの貴重資料（下垣内文庫）のweb公開。

4. 管理運営

- a) 学生アルバイトの活用（授業期間のみ・平日16:30～20:15）。
- b) 学外者の利用を再開（時間制限あり）

5. その他

- a) 新図書館建設の学内ワーキンググループ立ち上げ、プロポーザルによる設計事務所の選定、設計協議。
- b) JAIRO Cloud（NII）へのリポジトリデータ移行（公開は令和5年4月）。

資料 7-3

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：県立広島大学

1. 教育支援

- ・学科推薦図書，教員推薦図書，コースカタログ掲載参考文献等のコーナーを整備
- ・新入生オリエンテーションにおいて図書館利用について説明を実施
- ・初年度教育科目「大学基礎セミナーⅠ」のうち，2コマを利用し，新入生オリエンテーションよりもさらに詳細な図書館の利用，文献検索に関するガイダンス及び図書館見学ツアーを対面にて実施
- ・「教えて！レポートの書き方（基本編）」「プレゼンテーション向上ワークショップ」の2講座をオンラインにて実施
- ・学生選書を広島市内書店において実施
- ・学生が作成したアプリによるオンライン脱出ゲームを実施
- ・コロナ禍における利用者サービスの実施（図書の宅配貸出サービス，館内資料の文献複写郵送サービス）

2. 研究支援

- ・教職員からのレファレンス及び相互貸借サービスの個別対応
- ・看護教員養成講座（20名）への図書館使い方セミナー実施（三原キャンパス）
- ・「教員の研究紹介コーナー」の設置（三原キャンパス）

3. 社会貢献

- ・令和5年1月17日（火）から学外者サービスを再開
- ・近隣の小学校6年生9名を図書館見学で受入れ（庄原キャンパス）

4. 管理運営

- ・図書館利用アンケートを実施
- ・学術情報センター報（図書館報）の発行
- ・大学の活動基準に沿った図書館の運営，それに伴う利用案内の周知

資料 7-4

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島市立大学

1. 教育支援

(1) 新入生向け図書館ガイダンス (4/25-5/13)

オンラインでガイダンス動画視聴後、館内で個別に実習課題をする方法を昨年度に引き続き令和4年度も実施。410名が課題を提出した。前回、学生が一斉に来館し混雑したことを反省し、学生にFormsで来館日時を予約させ、結果を混雑予想として公表するようにした。

(2) 新入生向け利用ガイド (全3回)

(1)のガイダンス後のアンケート結果を元に、学生のニーズに合わせた利用ガイド(図書館マイページや電子ブックの使い方等)をウェブサイトに掲載した。

(3) 放課後学習相談 (5/31-7/28)

ラーニングコモンズ活性化を図るため、数学とプログラミングが得意な学部生を1名ずつ雇い、放課後学習相談会を実施した。各科目週1回の開催で、数学は全9回中10名の学生が利用、プログラミングは全8回中15名が利用した。

(4) ビブリオバトルの再開 (10/29)

広島県内での地区決戦が再開されるのに伴い、大学祭に地区予選大会を実施した。本学課外教育プログラム「市大塾」の有志や学外からの参加もあり、過去最多8名がバトラーとして参加した。

2. 研究支援

(1) 学術情報リポジトリの運営

コンテンツ数14件増加(累積1,764件)、ダウンロード数95,851件

(2) 外国雑誌等の購読中止

円安や価格高騰の影響で、2023年からの外国雑誌のうち冊子体15誌、電子版6件、海外データベース1件を購読中止とした。

3. 社会貢献

(1) 学外利用の再開 (9/5~)

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る規制が緩和されたことに伴い、夏季休業期間の9月から学外者の利用を再開した。

(2) 平和文化月間関連展示 (11/15-11/30)

(公財)広島平和文化センターによる平和文化月間2022に協力し、「広島記憶：原爆文学を中心に」と題した展示を実施。在学院生が挿絵を手掛けた絵本の原画などを展示した。

4. 管理運営

(1) 「広島市立大学 附属図書館の将来像 2022-2027」を公開

昨年度策定した附属図書館の将来像を図書館ウェブサイト上にて公開した。

資料 7-5

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：福山市立大学

1. 教育支援

- ・学生向けガイダンスのカリキュラム化（都市経営学部1年次で必修）
施設利用案内や文献探索の動画を作成，ガイダンス後はHPで公開
- ・個別ガイダンスをアラカルト方式で実施
- ・電子書籍の導入（令和4年度は301点購入）
- ・選書ツアーのほか，購読雑誌及び視聴覚資料の選定アンケートを実施し，蔵書の選定に学生が参画。選書ツアーは，書店とWeb選書のハイブリットで開催（年2回）
- ・企画展示の実施（選書ツアー・教員選書・ジェンダー・SDGs等）
- ・学部生のILL費用を教育振興会より全額支援
- ・学認に参加し，電子書籍やデータベース（一部除く）の学外アクセス環境を整備
- ・大学院生と研究生の貸出上限冊数を15冊から20冊に変更，研究生の更新回数を1回から2回に変更。
- ・学生の学習環境に関する実態調査（量的調査）を実施（599件回答，回答率75.2%）。調査結果について業務改善や附属図書館の利用者数の増加に向けた分析等を行い，課題を把握する中でその対応策を検討した。
- ・洋書の新着コーナーを設置
- ・HPの学内者向け利用案内を大幅リニューアル。それに伴い冊子体での配布を廃止し，簡易版リーフレットを配付。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策の緩和として，閲覧席の間引き運用を廃止，AVコーナーの1ブース2名利用の再開，グループ学習室の利用制限を廃止。

2. 研究支援

- ・共同リポジトリへの紀要論文の登録及びDOIの付与
- ・国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供
- ・教材用図書の効果的な利活用に向け，配架場所を附属図書館から各研究室に変更。
- ・洋雑誌・データベースについて，利用実態に即した提供を目的としたアンケート調査を実施。

3. 社会貢献

- ・一般開放（閲覧，貸出，施設利用）新型コロナウイルス感染症の影響で2020年（令和2年）3月から学外者の利用を停止していたが，8月から事前予約制や人数制限等を設けた上で受入れを再開。
- ・近隣団体，高等学校，特別支援学校，大学附属幼稚園，海外からの見学受入
新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施

4. 管理運営

- ・夜間開館（平日21時まで）及び，カウンター業務補助の学生アルバイトを雇用
- ・夜間開館時に，防災センターの警備員による巡回監視を実施

- ・カウンター内部に非常通報装置を設置
- ・入口付近に防犯カメラを設置
- ・閉館 5 分前に BGM を放送
- ・グループ学習室にサーキュレータ及び空気清浄機を設置
- ・寄贈図書の対象図書や手続の流れ等をホームページに掲載
- ・「福山市立大学図書館資料の収集方針」「福山市立大学図書館資料の除却に関する取扱い方針」「福山市立大学除却図書館資料の処分に関する取扱い」「福山市立大学における雑誌等の保存年限に関する申合わせ」を策定
- ・学内のシステム更改に伴い、図書館システムを更改（E-CatsLibrary Ver.7）、貸出ノート PC、PC コーナー、業務用 PC の入れ替え。

資料 7-6

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：エリザベト音楽大学

1. 教育支援

- ・視聴覚資料 OPAC を進行中。
- ・年度初めに、新入生への図書館オリエンテーションを実施。
- ・過年度入学生への利用指導は、要望に応じて都度対応している。
- ・試験期間中に延長開館を行った。
- ・長期休業期間中の特別貸出（期間・冊数）を実施。

2. 研究支援

- ・大学院生奨学金制度として、学習支援アシスタント（作業部門）院生を採用している。
- ・図書館内での授業実施申出に応じている。

3. 社会貢献

- ・館長が許可をした高等学校等の授業のために、主に音楽関係資料の館内利用を認めている。
- ・館長が許可をした国内外の研究者・学生等の見学希望を受け入れている。
- ・オープンキャンパスや授業公開日に、要望があれば開館し説明等を行っている。

4. 管理運営

- ・2022、2023年度で、照明が全てLEDに入れ替わる。
- ・未処理資料の仕分けにより、書庫の狭隘に対応。

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：日本赤十字広島看護大学

1. 教育支援

- ・新入生（学部、院）対象に対面でガイダンスを実施。学部1年生の必修科目「基礎ゼミ」内で図書館の使い方、OPAC・データベースの使い方等の講習会を実施。在生はGoogle Classroomで実施
- ・電子図書館サービス「紀伊国屋書店 KinoDen」で電子ブック90冊を購入
- ・展示会（ミニを含む）の実施（14回）
- ・ブックハンティングの実施（1回、参加学生3名）
- ・図書館インスタグラム発信（38回）

2. 研究支援

- ・紀要第23巻刊行
- ・リポジトリ登録（6件）、ダウンロード件数90,119件
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、院生対象に文献複写、貸出図書を郵送（有料）

3. 社会貢献

- ・新型コロナウイルス感染対策を行いながら学外者の利用を予約制（平日9時～12時、13時～16時、各2名）で実施（来館者197名）
- ・看護職等対象文献検索講習会（8月）は延期ののち中止

4. 管理運営

- ・入退館システム（BDS含む）の更新
- ・図書館システムの更新
- ・館内照明をLEDに交換
- ・館内コピー機の更新
- ・閲覧席の座面張り替え
- ・蔵書点検（研究室、図書館）実施（不明資料9冊）
- ・除籍実施（約3,500冊）
- ・除籍資料、廃棄雑誌の譲渡
- ・日本赤十字広島看護大学ブックケアプロジェクト（古本募金）の実施

資料 7 - 8

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：比治山大学・比治山大学短期大学部

1. 教育支援

- ・新入生向け図書館ガイダンス実施；431人/11回
上級生 " : 86人/8回
（参考：今年度4～5月：初年次499人/30グループ）
- ・電子書籍を299冊購入（同時アクセス数：1）

2. 研究支援

- ・リンクリゾルバの仕組みを導入（8月）
- ・EZproxy導入（利用開始2月）
- ・リポジトリ JAIROCloud申請、移行済み

3. 社会貢献

- ・インターンシップの学生を受け入れ（8月）

4. 管理運営

- ・令和5年度から図書課と情報システム課とを統合し、法人事務局 図書・情報メディア課となった。

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島経済大学

1. 教育支援

1. 開館時間等の変更
4月11日から夜間開館及び土曜日開館を開始。
(平日午前8:45～午後20:00、土曜日午前10:00～午後16:00まで)
2. 新入生対象図書館クイズラリーを実施 (賞品と参加賞あり)
3. 一般和雑誌の貸出開始
日経 Trendy、日経エンタティメント、Nonno、オレンジページ、Auto sport など 22 誌のバックナンバー。
貸出冊数：3冊/人、貸出期間：1週間
4. 入門ゼミ図書館ガイダンスの実施 57ゼミの入門ゼミガイダンスを実施。
5. 映画DVD新規購入アンケート実施 (得票数の多い10作品程度を購入)
6. 電子ブック試読(6月27日～8月26日)65冊購入
7. 「広島経済大学電子図書館 LibrariE (ライブラリエ)」の運用を開始
8. 学生選書イベント実施 かどっちょ書店 参加人数72名、選書冊数127冊。
9. 学部1～3年生対象 謎解きゲームイベント「Beekからの挑戦状！」の実施 (賞品と参加賞あり)

2. 研究支援

1. 2022年度から導入した文献検索ツール「EDS ディスカバリーサービス」及び「EBSCO host」の
教員対象オンライン活用セミナーを実施。
2. 学術情報リポジトリ
 - ・新規コンテンツ登録件数：29件
 - ・年間ダウンロード件数：238,945万件

3. 社会貢献

特記事項なし

4. 管理運営

- ・蔵書点検実施 9月8日(木)～13日(火)：うち10日(土)は除く 約17万冊対象。
- ・館内照明設備工事(LEDに変更)
- ・廃棄予定雑誌のリユースイベント実施(対象：学内者のみ)
- ・広島県大学共同リポジトリ(HARP)から共用リポジトリサービス「JAIRO Cloud」に移行準備。

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島工業大学

1. 教育支援

- ・ 新生を対象として図書館ガイダンスを実施
内容：図書館利用方法の説明、図書館スタッフによるOPACを利用した蔵書検索指導 など
- ・ 図書館学生アドバイザーを配置し、利用者への学習支援サービスを実施
- ・ 学生による図書選書「ブックハンティング」をオンラインで実施

2. 研究支援

3. 社会貢献

- ・ コロナ過のため一般利用を制限したため該当項目なし

4. 管理運営

- ・ 除籍済み図書及び雑誌の無償譲渡イベントの実施

資料 7-11

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島国際大学

1. 教育支援

- ・ 新入生に対して図書館利用説明会、館内スタンプラリーの実施。（説明会では、オンデマンド動画の活用開始）
- ・ 開館時間の延長（試験期間中のみ 20：00 まで）
- ・ 学生図書委員、教員によるブックハンティング（年 2 回）
書店で実施 1 回、オンラインで学生から選書募集を 1 回
- ・ 図書館利用講習会開催
- ・ 電子ブック（メディカルオンライン）無料トライアルの実施

2. 研究支援

- ・ 大学機関リポジトリの移行とデータ整備。

3. 社会貢献

- ・ 地元中学校の職場体験（インターンシップ）受け入れ
東広島キャンパス 黒瀬中学校
呉キャンパス 白岳中学校
- ・ くろせ・ひろこく交流図書館
大学と公立図書館両館で 100 冊ずつのお勧め本を交換し、互いの館で展示紹介および貸出しを行った。

4. 管理運営

- ・ 図書館報の発刊（年 1 回）

1. 教育支援

a) 学習環境

大学の活動指針危機レベルに沿った図書館の利用制限緩和を実施した。

〈利用制限緩和の事例〉

- ・ 閲覧席の席数制限撤廃
- ・ ラーニングコモンズ、グループ学習室の制限付き利用再開
- ・ 視聴覚コーナー、自習室、昼コーナーの利用制限緩和

b) 学習支援

主に学習支援センターが担当。

- ・ 学習支援センターが実施する LSC ドキュメンタリーアワーに伴う企画展示を2回実施した。

c) 情報リテラシー教育

①修大基礎講座（図書館活用法）、初年次セミナー

授業の中の1コマを図書館がサポートする形で施設の利用方法や初歩的な検索方法を紹介した。

修大基礎講座は、大学の学びに必要な学習スキルを習得すること等をねらいとして設置されている授業科目。前期に1年生全員が学科毎に受講する。2022年度は12クラスが実施した。

初年次セミナーも同様に1年生が受講するが、学部学科により実施の有無が異なり、2022年度は14クラスがガイダンスを実施した。

②文献検索ガイダンス

教員からの個別の要望に基づき、学生が適切な情報資源にたどり着けるようガイダンスを実施。

2022年度は45クラスで実施した。

d) その他

- ・ 図書館が年2回刊行する情報誌『BOOKMARK』で紹介された図書の展示を2回実施した。
- ・ 学生と教職員の選書イベント(ブックハンティング)を対面とオンラインで実施した。
- ・ 学習支援センター、英語担当教員との連携による英語多読マラソンを実施した。

2. 研究支援

- ・ 機関リポジトリからの研究成果の発信(紀要論文集)。
- ・ 広島修道大学デジタルアーカイブへ明治法曹文庫のデジタルデータを追加し IIIF で公開した。

3. 社会貢献

- ・ 広島修道大学デジタルアーカイブのジャパンサーチとの連携(継続)を実施した。
- ・ 広島修道大学デジタルアーカイブが NHK 番組『チコちゃんに叱られる!』内で活用された。

4. 管理運営

- ・ コロナウイルス感染症拡大防止のため、前年に引き続き学外者の利用制限を行った。
- ・ 資料保存のため、カビ発生モニタリングと除去作業を実施した。

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島女学院大学

1. 教育支援

(a) 学修支援

- ①ラーニング・アドバイザーによる個別学修支援の強化及び各種講座の実施
- ②検定本コーナーの新設
- ③課題図書の実施

(b) 利用者サービス

- ①英語多読図書の購入とイベント（英語多読マラソン）の実施
- ②SDGs まんが図書室の開設
- ③SNS 公式アカウント（ツイッター・YouTube）の開設
- ④ブックハンティングの実施

(c) ガイダンス関係

- ①初年次セミナー図書館案内の実施
- ②3・4年生対象学科ゼミガイダンスの実施

2. 研究支援

- ①機関リポジトリへの紀要論文等の登録及び JAIRO Cloud へのシステム移行
- ②データベースのトライアルを実施（Academic One File）
- ③朝日新聞クロスサーチ未契約オプションコンテンツのトライアルを実施

3. 社会貢献

- ①近隣小学校の社会見学による大学図書館見学の受け入れ
- ②児童教育学科の学生を中心に企画された「よるのとしょかん」の開催
- ③オープンキャンパス等での図書館案内
- ④高大連携プログラムの実施

4. 管理運営

- ①資料の除籍（狭隘化対策等のため）

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島都市学園大学

1. 教育支援

① 実習用長期貸出

- ・長期実習に出る学生を対象に、貸出期間を2週間から4週間に延長

② 講義・ゼミとの連携

- ・課題関連図書の展示
- ・担当教員の要望に沿ったガイダンスの実施
(新入生・検索データベースポータルサイト・ビブリオバトル(選択科目))

③ 特別支援教育関連図書の充実

- ・特別支援教育コース設置に伴う担当教員による選書

④ ブックハンティングの実施(店舗開催・年2回)

2. 研究支援

① 講義資料の一部保管

② 学術機関リポジトリへのコンテンツ登録

③ 学内発行誌にDOIの付与

④ 検索データベースポータルサイトの利用促進

3. 社会貢献

① オープンキャンパス開催日の開館

② 職場体験の受け入れ(広島市立翠町中学校)

③ 図書館サークルの活動

- ・広島市立中央図書館との連携(企画展示・認知症ブックカフェ)

4. 管理運営

① 廃棄予定の雑誌、新聞及び除籍資料の譲渡会を実施

② 蔵書点検の実施

③ 附属図書館中長期計画の策定(2022年～2028年)

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島文化学園大学

1. 教育支援

- a) 学習環境の整備
 - ・英語多読リーディングのタイトル 148 点整備（長束キャンパス）
 - ・資格や教員採用試験・看護実習・教育向けの図書充当（阿賀・坂キャンパス）
- b) ガイダンス
 - ・対面で文献検索の演習や新システム機能の利用案内を実施（全キャンパス）
- c) 学内のアクティブ・ラーニング施設の利用促進
 - ・ラーニングcommons利用回数 1,188 名（長束キャンパス），オープンcommons利用回数 989 名（阿賀キャンパス）
- d) 電子リソースの強化
 - ・ビジュラクラウド（医学・看護・健康映像配信サービス）の提供を継続・充実
 - ・全キャンパスで電子書籍の試読サービスを年2回計5か月間開催。
 - ・英語多読リーディングの電子書籍を授業の課題として紐づけて整備
 - ・電子書籍のレファラ認証。
- e) 本に関わるサービス
 - ・新システムによる他キャンパスの予約資料の搬送サービスの運用（全キャンパス）
 - ・人間健康学研究科設置認可に伴う図書を購入（坂キャンパス）

2. 研究支援

- a) 広島県大学共同リポジトリ（HARP）から JAIRO CLOUD へ移行準備。
- b) データベースの横断検索（EBSCO host の契約による）
CINAHL with Full Text, Psych Articles, Medline 等の横断一括検索を提供
- c) 外国文献教育心理データベースのオンライン講習会を開催。セッション回数前年比 3.5 倍

3. 社会貢献

- a) 高大連携高大連携事業で呉市立立高等学校の探究学習。呉市協働によるグループワークの学習の場として活用（阿賀キャンパス）

4. 管理運営

- a) 図書館新システム運用開始。図書館ポータル提供により利用者サービスの拡大

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島文教大学

1. 教育支援

a) 学修環境の整備

- ・ 実習貸出、長期休業貸出、卒業論文作成のための長期貸出を実施。

b) 利用者サービス

- ・ ブックハンティング(オンライン選書)実施 2回(6月、11月)
- ・ 各種展示 特集コーナー:4回(1.宮島について知ろう 2.夏から秋にかけてのエトセトラ 3.ダイバーシティとジェンダー 4.文学賞について知ろう) 新着図書展示:随時
- ・ 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービスの提供

c) 授業・ガイダンス関係

- ・ ゼミ対象ガイダンスの実施。
- ・ 司書課程授業「図書館概論」で、大学図書館の業務について紹介し、体験講座として、POP作成講座を行った。授業で学生が作成したPOPを利用して、特集展示を実施。
- ・ 司書課程授業「図書館サービス概論」で、図書館の広報として、実施したイベントや広報の工夫を話した録画で協力。

d) そのほか

- ・ 図書館広報誌「あらいぐま博士の『読んどる?』」(電子版)発行 年1回 読書推進
- ・ 貸出促進イベント「本を3冊借りて、賞品をもらおう！」実施(7月)。
- ・ ビブリオバトル開催(12月)
- ・ 就職活動関連資料の充実
- ・ 就職課員による出張相談(授業期 週2回 90分程度)をラーニング・コモンズで実施。就職関連イベント(企業説明会等)でラーニング・コモンズを定期的に活用。

2. 研究支援

- ・ リポジトリ新規コンテンツ登録件数:54件、年間ダウンロード件数:156,087件
- ・ データベースの契約
- ・ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供

3. 社会貢献

令和4年度は、学外者サービスを停止していたため、該当なし

4. 管理運営

- ・ 蔵書点検(全館・研究室貸出資料・教室貸出資料)
- ・ 書棚排架図書の整備(利用が少なくなった本を一般書架から電動書架へ移動)
- ・ 除籍図書、廃棄新聞の譲渡

資料 7-17

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名： 福山大学

1. 教育支援

- ・『新入生にすすめる50冊の本』刊行
- ・図書館倶楽部（学生ボランティア団体）の活動支援
Library News Vol.17 刊行
第11回 大学図書館学生協働交流オンラインシンポジウム 9/9 2名参加
全国大学ビブリオバトル2022 地区予選会（中国Bブロック）10/22 開催補助
学内ブックハンティング(第11回)開催補助
図書館内環境整備（年末大掃除）
図書館紹介動画制作（全5篇・学内者限定公開）
- ・全国大学ビブリオバトル2022 中国Bブロック地区決戦参加
- ・図書館ガイダンスの実施 雑誌・論文の探し方も含む（26件580名）
- ・授業目的公衆送信保証金制度に関する全学SD研修主催 9/20～10/10

2. 研究支援

- ・学術情報リポジトリにより、研究成果を発信
- ・データベース利用講習会（オンライン）の開催
Sci Finder-n 9/26 15名参加 / ディスカバリーサービス Summon 11/21 19名参加
- ・学内ブックハンティング開催
（全3回（オンライン2回（6/27～7/22、11/21～12/15）、対面1回（12/14・15））
- ・Maruzen eBook Library 試読サービス実施（6～7月、11～1月）
- ・Journal of Visualized Experiments (JoVE) トライアル実施 5/9～7/3
併せて、利用説明会開催 5/12
- ・Springer Link Value Collection 導入

3. 社会貢献

- ・地域住民へ図書館開放 10/14より再開
- ・本学読書推進システムを近隣高校で実施
- ・第54回私立大学図書館協会西地区部会中国・四国地区研究会 オンライン開催
9/15 33校67名参加

4. 管理運営

- ・図書館倶楽部ミーティング実施（週一回）
- ・図書郵送貸出・返却サービスの実施（本学学生限定）
- ・新型コロナウイルス蔓延防止対策として、定期的な座席消毒の実施と、座席数を制限
- ・入退館ゲートシステム改修

資料 7 - 18

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：福山平成大学

1. 教育支援

- ・新入生必修授業「平大入門ゼミ」において「図書館の利用案内」について録音データを配信した。
- ・教員からの依頼により適宜、図書館オリエンテーションを実施した。
- ・教職員及び学生に原稿を募集し、冊子「新入生にすすめる本」を刊行した。

2. 研究支援

- ・機関リポジトリに紀要論文等を38件新規登録・公開した。

3. 社会貢献

- ・執筆者を招致し「図書館 de 哲学カフェ」を開催した。（ZOOM開催1回、館内開催1回の計2回開催）

4. 管理運営

- ・学外者の入館及び図書貸出等の利用を再開した。（2022/11/1～）

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：安田女子大学

1. 教育支援

a) 学習環境

- ・ 授業参考図書の充実（各学科教員からの推薦図書の購入、授業関連図書の展示）
- ・ 選書キャンペーン(ブックハンティング)を夏季休業期間中に実施（10年目）
- ・ 完成年度に至るまで重点的に関連図書を購入
（公共経営学科・生活デザイン学科建築コース）

b) 利用者サービス

- ・ 図書館情報誌「Patio」（パティオ）発行（年3回）
- ・ 新入生図書館利用ガイダンスの実施（全新入生対象）
- ・ 2年生以上の学生を対象とした図書館利用・文献検索ガイダンスの実施
- ・ 各種ガイダンス動画・資料の提供
- ・ 企画「大学教員が選ぶ図書150冊」の実施（年2回）。学科教員による推薦文を添えて、図書館ホームページ並びに図書館展示で紹介。
- ・ ラーニングコモンズ内での新着図書展示
- ・ 優良利用者表彰の実施（来館回数・貸出冊数の2部門、年2回）
- ・ 展示コンテストを10月に実施（8チーム20名が参加。3年目）

2. 研究支援

- ・ 『安田学術研究論集』の刊行。
※ 大学紀要と大学院紀要を統合。年2回の発行。
- ・ 学術リポジトリの公開（本学論集のうち許諾があるものすべてを公開）
- ・ 研究分野（文系・理系）ごとに予算配当し研究用図書を購入

3. 社会貢献

- ・ 国文学研究資料館による稲賀文庫の電子化とデータの提供・公開
※新型コロナ感染拡大防止のため、学外者の利用制限（5/8以降、制限解除）。
※例年受入れを行っている近隣中学校職場体験も中止。

4. 管理運営

- ・ 貴重資料室の害虫調査<毎月>

資料 7-20

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名： 近畿大学工学部図書館

1. 教育支援

a) 学習支援・利用案内

- ・在学生向け図書館見学ツアー【参加者：5人】
- ・文献の探し方・データベースの使い方（説明動画を学生ポータルサイトへ掲載）
- ・文献探索セミナー「SciFinder講習会」（Zoomと対面のハイブリット）開催【参加者：49人】

b) 広報活動

- ・学生選書の会（前期1回・後期2回開催）【1,095冊選定（うち744冊発注）】
- ・ブックリユースコーナー常設
- ・企画展示（2か月毎に入替）、新着図書・多読・受賞作・学生選書コーナー（随時入換）、科学道100冊2022コーナー、図書委員による読書ガイドコーナー
- ・オープンキャンパス一般開放（自由見学）【入館者：82人】

2. 研究支援

- ・電子ジャーナル・データベース・電子書籍
 - *一部学外利用可あり
- ・工学部研究報告（No.56）、工学部紀要（No.52）発行（学術情報リポジトリ公開）

3. 社会貢献

高等学校（9校）、東広島学（後期開講）、企業、地元団体等の施設見学案内
※一部コロナのため中止

4. 管理運営

- ・図書館システム運用
 - *学園資料取寄サービス運用（中央、農、医、生物理工、産業理工、九州短大、工）
- ・蔵書点検実施
- ・館内の照明をLDEに交換

資料 7-12

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名： 海上保安大学校

1. 教育支援

- ・ オリエンテーション(図書館利用説明、貸出・返却の手順や OPAC の操作説明など)の実施(毎年、本科学士入学時及び各種研修の開始時)
- ・ 学生・研修生に開館時間外(平日夜間及び土日祝日)においても図書館1階の一部を自習あるいは読書の場として開放(平成21年度から継続)
- ・ 学生・研修生が希望する新刊図書(専門書ではなく、いわゆる読み物に限る)を継続して購入し、上記の時間外開放場所に配架(平成23年度から継続)
- ・ 「海上保安政策プログラム」(大学院修士課程)所属の海外からの留学生に対し、前述の利用説明や図書館蔵書検索等の支援を実施(平成28年度の同プログラムの開始時から継続)

2. 研究支援

- ・ 研究紀要「海保大研究報告」の発送事務(同研究報告発行の都度)
- ・ 上記紀要等の論文等を電磁的に掲載・蓄積する手段である機関リポジトリとして、平成25年2月から「広島県大学共同リポジトリ」に参加、現在、JAIRO Cloud への移行作業中である。
- ・ 機関リポジトリの各コンテンツに DOI 付与(平成27年8月から継続)
- ・ 研究用図書については、講座教官の希望に基づき図書館で一括して購入発議、登録及び管理を実施(毎年度、随時)

3. 社会貢献

- ・ 図書館1階を広く一般市民に開放、蔵書の閲覧、貸出等に対応
- ・ 約7,600冊の貴重図書(旧海軍大学校図書等)及び約7,700冊の海洋法ライブラリー図書に関する外部からの問い合わせ、閲覧・複写の希望への対応実施

4. 管理運営

- ・ 特になし

資料 7-22

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：山陽女子短期大学

1. 教育支援

- ・ 新入生必修授業「フレッシュマンセミナー」にて図書館の利用方法について案内
- ・ 広報誌『山女図書館通信』発行(月1回)
- ・ 図書館貸出推進
 1. 図書1冊貸出につき応募券1枚で抽選し、雑誌付録をプレゼント(年2回)実施
 2. 図書1冊貸出につき雑誌10冊プレゼント(年2回)実施

2. 研究支援

- ・ 『山陽女子短期大学紀要』の編集・発行

3. 社会貢献

- ・ 学外者利用(閲覧のみ)

4. 管理運営

- ・ 除籍の実施：13,356冊(7-9月)
- ・ 図書館のレイアウト変更・書架整理(10-12月)
- ・ 蔵書点検の実施(1-2月)

資料 7-23

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：呉工業高等専門学校

1. 教育支援

- ・ 学校見学会や入学説明会等での会場提供

2. 研究支援

- ・ JAIRO Cloud へ研究報告のデータ移行

3. 社会貢献

- ・ 学外利用者の受入停止の継続

4. 管理運営

- ・ 図書広報誌「図書だより」の廃刊
- ・ 図書館ホームページの廃止（本校ホームページのコンテンツへ移行）
- ・ 休日夜間開館対応の非常勤職員を学生アルバイトへ変更
- ・ ブックハンティング行事の廃止
- ・ 図書システムの更新（NEC→富士通）

資料 7-24

承合事項 令和4年度の図書館活動について

回答大学名：広島商船高等専門学校

1. 教育支援

- ・ 新入生ガイダンスの実施
- ・ 新任教職員へのガイダンスの実施
- ・ 進学予定者や専攻科生を対象にした文献検索ガイダンスの実施
- ・ 本科の1～3年生までもを対象にした作文表現コンクールの実施
- ・ 奨学後援会寄附金による学生用推薦図書を購入

2. 研究支援

- ・ 研究紀要第45号の編集、発行
- ・ 退職教員の返却図書整理
- ・ 寄贈資料の受入

3. 社会貢献

- ・ 図書館だより第56号の作成と図書館ホームページでの公開

4. 管理運営

- ・ 図書、雑誌の不用決定および廃棄作業
- ・ 書庫および開架書棚のカビ等の調査実施
- ・ 平日夜間と土日勤務の非常勤職員（学生）の雇用